

梅原の子

Umehara Elementary School

梅原小学校 学校だより

令和5年 11月号

百聞は一見に如かず 地域の支えで学ぶことに感謝

本校では、全学年で主に社会科と生活科で校外学習行事を行っています。学校行事として単発で行っているのではなく、日々の授業の内容や教材と関連付けて実施します。主な見学場所を紹介します。

1年生：たのしい あき いっぱい	四国山香りの森公園 など
2年生：もっとなかよし まちたんけん	山県ばすけっと 山県市図書館 など
3年生：はたらく人とわたしたちのくらし	ミズタニバルブ工業 山県消防署 など
4年生：わたしたちの県	木曾三川公園 など
5年生：わたしたちの生活と工業生産	岐阜車体工業株式会社 など
6年生：日本の歴史	京都下鴨神社 奈良法隆寺など 四国堀跡・六萬墓・千人塚（山県市）など



〈1年生〉



〈2年生〉



〈3年生〉

さて、そもそも社会科見学を実施することの意義や役割は何でしょうか。

第一に、「百聞は一見に如かず」です。教科書や本で学んだことが、自分の目の前で五感を通して実感できることは、子どもたちの理解や関心をいっそう高めます。また当事者から話を聞くことは、何より説得力があります。

第二に、生涯学習の基礎づくりとなることです。地域の図書館などを利用することは、社会科の内容を深めるのに役立つだけでなく、その施設の役割に関心をもち、利用の仕方やマナーを学ぶ機会になります。さらには、大人になってもこうした施設を利用しようという意欲や態度を養うことにつながります。

第三に、地域と学校が一体となって子どもを育てることです。見学する企業や施設等の人たちから学校の教育活動を応援していただくことで見学が成り立ちます。本校の場合、2年生で梅原地区の公民館やお店の見学、3年生で「ミズタニバルブ工業」などに見学に行きます。見学前に打ち合わせをして見学内容が決まります。その打ち合わせをもとにして、少しでもわかりやすくなるように工夫をして説明をさせていただきます。子どもたちのために、多くの時間を割いていただいているのです。地域みなさんが、本校の子どもを学校と一緒に育てようとする風土がある梅原だからこそ、実体験の学びができます。学習は、学校と共に地域に支えられて行われているのです。